

在日本韓国YMCA、東京センテニアルYサービスクラブ共催

第10回オリーブ平和映画祭

オリーブ平和映画祭とは

パレスチナの東エルサレムYMCAと交流を進めている在日本韓国YMCAが、パレスチナに暮らす人々の現状に触れ、理解を深め、共感の場を広げたいという思いから、毎年東京センテニアルYサービスクラブと共催で実施する映画祭です。会場では Beit Safur YMCA (ベツレヘム：パレスチナ自治区) で製作されたオリーブクラフトの販売、フェアトレードのオリーブオイル・オリーブ石鹸の販売も行います。



本映画祭の収益金は、東エルサレムYMCAとの交流活動、現地におけるプログラム支援のために用いられます。



5/17 (木) ガザの美容室

19:30 ~ 21:30

パレスチナ・ガザの小さな美容室を舞台に、戦争状態という日常をたくましく生きる女性たちを描く。日本公開前の作品。

監督・脚本：タルザン&アラブ・ナサール / 出演：ヒアム・アッパス、マイサ・アブドゥ・エルハディ他 / 2015 / パレスチナ・フランス・カタール / 84分 / アラビア語



5/18 (金) 壊された5つのカメラ

19:30 ~ 21:30

パレスチナの民衆抵抗運動の地、ビリン村に住むイマード・ブルナートは、四男の誕生を機にカメラを手に入れ、はからずも村の記録者となる。そんな中、ビリン村ではイスラエルにより「分離壁」が築かれ、村の耕作地

の多くが奪われる。怒った村人たちは毎週末、非暴力のデモを続けた。

監督：イマード・ブルナート、ガイ・ダビディ / 2011 / パレスチナ・イスラエル・フランス・オランダ / 90分 / アラビア語・ヘブライ語

土曜日は2作品上映！
ライブやトークがあります。

5/19 (土) 自由と壁とヒップホップ

11:00 ~ 13:00

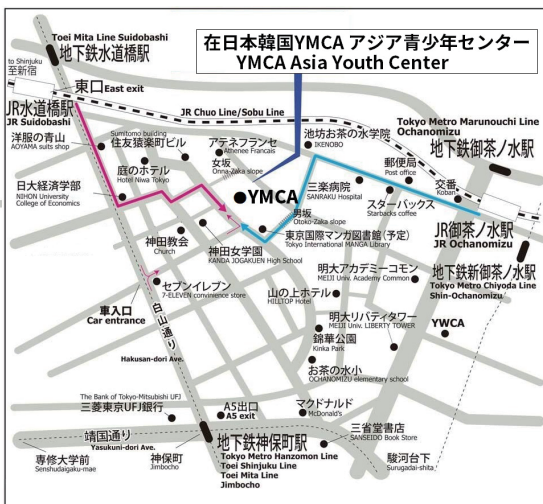
パレスチナのヒップホップ・ムーブメントを取り上げた初めての長編ドキュメンタリー。自身もパレスチナにルーツを持つ女性監督ジャッキー・リーム・サッロームが描く、若者たちの音楽による非暴力の抵抗。

監督：ジャッキー・リーム・サッローム / 出演：DAM、マフルード・ジャラビ他 / 2008 / パレスチナ・アメリカ / 86分 / アラビア語・英語・ヘブライ語

16:30 ~ 18:30

ガザの美容室

+ 金城美幸 (パレスチナ / イスラエル史学) トーク



料金

平日・一般 1500 円 (前売り 1200 円) / 土曜・一般 1800 円 (前売り 1500 円)
学生・前売り 800 円 通し券 2500 円 ※前売りのみ

前売り券はYMCA 1階フロント、3階事務室で直接ご購入いただくか、お電話・FAX・メールでご予約ください。
TEL 03-3233-0611 FAX 03-3233-0633 メール: ayc@ymcajapan.org (担当: たづけ)

会場

在日本韓国YMCA スペースY (地下)

東京都千代田区神田猿楽町 2-5-5

JR 水道橋駅徒歩 5 分 JR 御茶ノ水駅徒歩 8 分 地下鉄神保町駅徒歩 7 分